

令和6年通常選挙 地方本部区域毎の社員(東北)

選挙公報【詳細版】

●地方本部区域毎の社員の立候補者(所属支部名 宮城県)

- ①コールサイン : JA7DNO
②氏名(フリガナ) : 島 正博 (シマ マサヒロ)
③年齢 : 75歳
④職業 : 団体役員
⑤無線従事者資格 : 第2級アマチュア無線技士

力を入れている無線活動

- ・ 浅く・広く色々なモード・バンドでアマチュア無線を楽しんでいます。
(DXing、コンテスト参加、AWARD、CW、D-STAR、WIRES、IOTA、POTA、SOTAハンター・・・)
- ・ アクティブに交信してます。2023年実績 約5千QSO以上
(国内局約3千QSO、海外局約2千QSO:125Entity コンテストの交信を含む)
- ・ 交信証の省資源化を図るべく電子QSLの発行に務めてます。(希望者にのみ紙対応可Hi)
(h-QSL、eQSL、LoTW、QRZ.com、QRZ.CQ、ClubLog、HRD 他にログアップロード)
- ・ 体験交信に関するイベントの企画を考慮中です。

JARLに対して自分ができる貢献(具体的に) 「会員のため、事業・企画の推進を図ります。」
これまでのJARLに関連する従事業務は次の通りです。

1. 本部関係

- ① ワイヤレスネットワーク委員会(WNC)東北地区委員受任 ☞ 継続して行います。
上程される全国各地のレピーターの新設等に関する案件の審議に参加し意見を具申した。
東北地区のレピーターの新設・廃局や諸問題に関する調整を各県支部長と調整の上実施した。
2. 東北地方本部関係 ☞ 継続して行います。
- ① 宮城地区設置レピーターの管理業務 (JP7YFB、JR7WL、JR7WA)
各レピーターの管理団体代表者として、定時の運用実績報告と免許更新にかかる業務を行った。
- ② 東北地方本部発行アワード(電子版)の作成発送
「ONE DAY JA7アワード」(PDF)を適時発行した。
- ③ 東北地方本部連絡会議に参加し、WNC関連の情報提供を行った。
- ④ 「東北地方本部選出社員」業務
定時社員総会に出席し、各議案に対する決議に意思を表示した。
- ⑤ ARDF全国大会開催支援 (2023年蔵王開催) ☞ 新規イベントがあれば対応します。
昨年10月に宮城蔵王にて開催した大会に関して、運用について支援を行った。

3. 宮城県支部関係 (宮城県支部長と連携して運用を行ってます。)☞継続して行います。

① イベント開催企画運用

年間スケジュールに従ってイベント開催を企画運用を行います。
(ハムのつどい、何でも相談室、子供ラジオ教室、サイエンスディ、クラブ代表者会議他)

- ② 特別局(記念局)を開局して県内各地で運用を行い全国にPRします。(多賀城創建千三百年記念局:案)
- ③ 宮城県支部ホームページの運用管理
各イベントの案内、実施結果報告、その他関連情報連絡
- ④ 支部発行アワード(電子版)の発行及び受賞者のホームページへの掲載
- ⑤ コンテスト委員会委員として、支部主催コンテストに関する業務支援
- ⑥ その他各種支援
(各種機材類の準備、関係先調整・許認可報告及び関連文書作成 他)

【まとめ】

平成19年より18年間 JARL宮城県支部の企画担当者として支部イベントの開催とホームページの管理運営を担当してまいりました。更に、当支部主催などのコンテストの電子申請に関する集計整理業務なども担当させていただきました。
これからも、会員同士が益々より楽しめるような環境作りを目標として、微力ながら活動して行きたいと考えております。

令和6年通常選挙 地方本部区域毎の社員(東北)

●地方本部区域毎の社員の立候補者(所属支部名 青森県)	
①コールサイン	: JK7LXU イシオカ ヒロカズ
②氏名(フリガナ)	: 石岡 洋一
③年齢	: 68
④職業	: なし
⑤無線従事者資格	: 第1級アマチュア無線技士
力を入れている無線活動	①DX情報懇談会の開催＝東北地方と北海道函館地方のDX通信愛好者に呼びかけ、青森県弘前市で研究発表会を主催している。 第3回は本年10月12日(土)、弘前市立百石町展示館で開催予定。 ②JARL主催のアマチュア無線技士養成課程の講師を2014年から務め、第3級と第4級のアマチュア無線技士の輩出に努めている。 ③ARRLのボランティア試験官を2013年から務め、仙台市や三沢市などで実施されるFCC試験で、国内外のアマチュア無線家を輩出している。
JARLに対して自分ができる貢献(具体的に)	
①JARL収支の均衡と黒字化に向けた提言。 ②JARLスタッフの労働環境向上への提言。 ③予算実績管理向上への提言。 民間企業で年商60億円の販売部門や同25億円の広告部門などの経理や与信管理を担当した経験から、本連盟の収支均衡と黒字化は不可能ではない。 そのためには、実務を担う本連盟スタッフの雇用を維持し権利を守るなど労働環境の向上も大切である。 また、連盟運営を健全化するためには予算実績の管理を担当者任せにしないで、理事ひとり一人が危機感を持って臨む必要がある。 (資格) ・第一種衛生管理者＝1999年10月15日(第04004536071号) ・簿記検定2級＝2009年2月22日(証121の2第211号)	

令和6年通常選挙 地方本部区域毎の社員(東北)

●地方本部区域毎の社員の立候補者(所属支部名 山形県支部)

- ①コールサイン : JF7EIT
- ②氏名(フリガナ) : 佐藤 徳昭 (サトウ ノリアキ)
- ③年齢 : 68歳
- ④職業 : 無職
- ⑤無線従事者資格 : 第2級アマチュア無線技士 (第二級陸上特殊無線技士 第四級海上無線通信士)

力を入れている無線活動

○県を超えたイベント開催にあたり、他県支部やクラブ、JARL との連絡調整役を務めている。

やまがた県南クラブ米沢アマチュア無線フォーラムのイベント担当として隣県支部や JARL 会長とのパイプ役となった。

○5.6GFHz-ATV の機材を製作し、山岳移動による遠距離通信実験を実施している。

ドローン FPV ユニットと BS/CS パラボラアンテナを活用したアマチュアテレビジョンの実験に、クラブで取り組んでいる。

○地元のコンテストに積極的に参加し、7MHz 部門で優勝・準優勝の好成績をあげている。

JARL に対して自分ができる貢献(具体的に)

①アマチュア無線界に係る課題や疑問及び意見・要望を JARL 社員総会の場で積極的に発言します。

昨年の JARL 社員総会で、体験運用における相手局のマナーの悪さについて発言しました。(社員1期目で大変緊張しました)今後も(2期目)様々な方々から寄せられた意見や要望、疑問点などを精査し、社員総会でどんどん発言していくことで JARL 社員としての責任を果たしてまいります。

②各地のハムイベントに積極的に参加し、各県の支部長や JARL 会長とのパイプ役となります。

昨年は社員総会をはじめ、ハムフェア、宮城県支部ハムの集い、福島県支部ハムの集い、ハムミーティング in 山形の各イベントに参加して、JARL 会長や各県支部長、地域クラブ代表役員の方々と面識を深め、その後のイベント開催や活動に役立てることができました。今後も多くの方々と交流を深め、その人脈を活かして連携のパイプ役としての役割に徹してまいります。

③JARL からの情報や無線関連の情報の集約に努め、会員の皆様への情報提供に努めます。

社員総会出席や各地のイベント参加、さらに社員として入手した様々な情報は各県支部 Web などを利用して積極的に発信します。また各県で開催されるハムイベントの情報を収集し、他県の会員にも広報周知して参加を促し、各々のイベントが多数の来場者で賑わうように力を尽くします。

④東北地方本部選出社員に呼び掛け、東北社員連絡会(仮称)の設立を提案します。

東北地方本部社員による意見交換を目的とし、各社員の活動の様子や各県支部の状況など社員同士の情報共有に資するための連絡会を設立してはどうでしょうか。今までは各社員の活躍する姿が見えなかったのが、互いに切磋琢磨する上でも是非実現させたいと思います。

⑤東北アマチュア無線フェスティバル(仮称)の開催に向けた検討を始めます。

2018 年の東北復興アマチュア無線フェスティバル開催に続き、震災後 15 年を迎える節目の 2026 年の開催を目指し、東北地方本部社員に呼び掛け、東北地方本部長や各県支部長にも働きかけながら記念イベントの開催実現に向けて話し合いを進めていきたいと考えています。

令和6年通常選挙 地方本部区域毎の社員(東北)

●地方本部区域毎の社員の立候補者(所属支部名 宮城県)

- ①コールサイン : **JA7AJH**
②氏名(フリガナ) : **尾形 和俊(おがたまさとし)**
③年齢 : **81歳**
④職業 : **無(現JARL副会長)**
⑤無線従事者資格 : **第一級アマチュア無線技士**

力を入れている無線活動

アマチュア無線は「趣味の王様」であり、この魅力ある趣味を活性化、この感動をお一人でも多くの方に知っていただきたいと、将来の存続に向けて、積極的にアマチュア無線を運用し、若年層はもとより幅広い年齢層の方へのアマチュア無線の楽しみ方など実践的に周知啓蒙活動を行って参りました。JARLの会員増強組織強化委員長として、率先して会員皆様へのサービスや各種の特典を企画し、活性化並びに将来を見据えた前向きな取り組みを行って参りました。アマチュア無線の後世への継承に努めて参ります。

JARLに対して自分ができる貢献(具体的に)

これまでの実績を基に皆様のために活動させてください！

◆JARL副会長・JARL会員増強組織強化委員長としての実績を基に活動◆

副会長、会員増強組織強化委員長として、会員皆様主役の組織運営に努めて参りました。これら(下記に列記)をベースに、社員として、皆様のご意見を拝聴しながら、積極的に取組んで参る所存です。会員皆様のサービス向上、将来に存続できる組織に、皆様のお役に立ちたく活動して参ります。

◎会員皆様主役の組織運営

JARLの主役は会員皆様です。会員皆様にご入会いただき、会費をお納めていただいて組織運営が成り立っております。会員皆様が何を必要としているか、何を望まれているかを、アマチュア無線を実践しながら、各地域に赴いてハムの集い・支部大会やイベントなどで意見を頂戴し、会員皆様の意見を組織運営に反映するなど、会員皆様が主役の組織運営に努めて参りました。関係する機関や関係の皆様との連携を密にし、会員皆様の満足度の向上に向けて取り組んで参りました。

◎会員サービスの充実

QSLカード転送はJARLの1丁目1番地であり、会員皆様がアマチュア無線を快適にお楽しみいただけるように、会員皆様の立場にたつて各種サービスの充実に向けて積極的な取り組みに努めて参りました。

◎将来に存続できる組織に

長年、JARLの会員増強組織強化委員長として、組織の活性化、将来に存続できる組織にと、会員皆様の満足度の向上に向けての施策、将来を担う方々のご入会、1年間無料にてアマチュア無線連盟の会員としてご活躍いただけるお試し入会など、アマチュア無線の楽しさを伝え、将来に存続できる組織運営に努めて参りました。

以上、お読みくださりありがとうございました。JA7AJH尾形和俊に、お力をお貸しください。ご支援賜りますようお願い申し上げます。

令和6年通常選挙 地方本部区域毎の社員(東北)

● 地方本部区域毎の社員の立候補者(所属支部名 宮城県)

- ①コールサイン : JP7WAB
②氏名(フリガナ) : 高橋 駿平(タカハシ シュンペイ)
③年齢 : 27歳(1996(平成8).3.27生) 秋田県出身
④職業 : 大学生
⑤無線従事者資格 : 第3級アマチュア無線技士、第2級陸上特殊無線技士

力を入れている無線活動

・コンテスト並びに各種イベント等への積極的参加

JARL並びに支部等主催コンテストには必ず出場、県支部主催イベントをはじめとし、本部主催イベントもタイミングが許す限り出席し、今年度はハムフェア、アイボールパーティーに出席しました。

・地域ボランティア支援機関との関係構築

私の運営しているクラブは市社会福祉協議会登録団体です。アマチュア無線クラブとして登録団体となっているのは東北地方内でも数少ない中の一つです。ほか、赤十字や各ボランティアセンターとも連携を取っており、より開かれたアマチュア無線になるよう活動しています。

JARLに対して自分ができる貢献(具体的に)

若手の声で真に新たなJARLを!

・行政文書開示請求による災害協定の締結状況をはじめとする各種調査、国会議員に対する陳情、行政等に対する働き掛け
JARLが事業報告で『「非常通信に関する基本方針並びに非常通信実施要領」にもとづき、地方自治体とJARL支部との災害協定締結を積極的に推進しました。』とありますが、JARL都道府県支部と都道府県知事等が締結する災害協定は47都道府県中、19府県であることが私の独自調査で判明しました。また、東日本大震災以後の防災協定の失効、某研究機関の調査未実施などを行政文書開示請求により明らかとしました。同について市議会議員、市担当課職員とも情報を共有しました。さらに、知床遊覧船沈没事故での関係労働団体の認識不足問題についても、引き続き暫時調査を継続しています。

さらに、2023年に実施されたアマチュア無線に関する制度改定に於いて、ある程度行政の地域間格差が無くなってはいますが、社団のコールサイン復活の解釈についても各総通間で差異が生じているなど、完全には無くなっていない為、その差分を無くす為の活動等も含め、国会議員への陳情、違法電波の取り締まり強化、アマチュア無線を取り巻く電波法制の緩和などに継続して取り組んで参ります。

また、災害協定についても収集した文書をまとめて冊子等にして、現状を紹介する形で頒布したいと検討しています。

・各団体との関係強化

2023年総会にJIIRKA板橋社員が提出した準備書面に『「アマチュア無線活動の推進」に関し、諸団体との交流について』を盛り込み、下記団体との関係構築強化並びに対話の促進をJARL全体としても推進して参ります。

・公益財団法人日本無線協会 ・一般財団法人情報通信振興会 ・国立研究開発法人情報通信研究機構 ・放送大学学園 ・日本赤十字社 ・社会福祉法人全国社会福祉協議会 ・公益財団法人ボーイスカウト日本連盟 ・公益社団法人ガールスカウト日本連盟 ・一般社団法人Youngsters on the Air Japan(YOTA Japan) ・一般社団法人日本協同組合連携機構(JCA) ・特定非営利活動法人日本防災士機構 ・特定非営利活動法人日本防災士会

・若い世代へ中心としたアプローチに向けたイベント実施等広報戦略の模索

2023年総会にJIIRKA板橋社員が提出した準備書面を基に、若い世代へアマチュア無線をどうアプローチすれば良いかを模索したいと考えています。

関東圏ではコミックマーケット等では多くの参加者がアマチュア無線を運用などの試みが行われているところですが、東北地方をはじめとする他地方でも、比較的規模が限られる中で、普及活動イベントを開催できるか模索したいと考えています。さらに、地域ボランティア関係機関とも連携しながらのイベント実施も模索しております。

また、JARL会費、ハムフェア入場料に「U-35割」の導入を求め、JARLにも同様の施策の実施を引き続き要望します。

さらに、「通信制大学・高校に対する学割」実施を同学生である人には年齢不問で全員への実施を求めます。

「エイジフリー」「ジェンダーフリー」「ボーダーレス」を掲げ、この国の少子高齢化社会の中でのアマチュア無線の生存策を探求模索して参ります。

アマチュアコードが定めるところの「アマチュアは、進歩的であること」の限りない履行の貫徹、温故知新かつ、時代に適合しながらもどこよりも先進的に諸政策の実施を行います。

若年層に電波の「ときめき」「かがやき」「あこがれ」を届けます。

そして、「電波のある未来」をいつまでも……!

投票用紙には、是非「JP7WAB」にマークをお願いします!